

福智町 議会の窓 議会だより

FUKUCHI TOWN COUNCIL NEWS

2015.9

VOL. **31**

主な 内容

議員紹介	2
所属委員会紹介	4
第1回臨時会	6
6月定例会・第2回臨時会報告	7
一般質問(8議員)	8
研修報告	17
広報委員会視察・あいさつ	18

新体制決まる

町議選後の臨時会で議席や役職を決め、新体制による議会がスタートしました。
熱弁を傍聴においでください。

議会 会事 堂

町執行部

- ⑥ 辰島 誠
- ⑦ 沼口 富生
- ⑬ 木村 幸治
- ⑭ 原田 幸美
- ⑰ 属 公弘
- ⑳ 安永 榮一

議長

- ③ 尾崎さつき
- ④ 木戸 勝正
- ⑤ 渡邊 文敏
- ⑩ 高津 鶴己
- ⑪ 矢野 博文
- ⑫ 日比生洋一
- ⑰ 浦田 光由
- ⑱ 大島 勇夫

町執行部

- ① 橋本 騰馬
- ② 小松 繁信
- ⑧ 楠木 静則
- ⑨ 堀江 政洋
- ⑮ 皆川 高司
- ⑯ 片岡 文雄

出入口

傍 聴 席



① 橋本 騰馬
総務文教常任委員会 副委員長
議会運営委員会 委員



② 小松 繁信
厚生常任委員会 副委員長



③ 尾崎さつき
厚生常任委員会 委員
議会運営委員会 委員



④ 木戸 勝正
産業建設常任委員会 委員



⑤ 渡邊 文敏
総務文教常任委員会 委員



⑥ 辰島 誠
総務文教常任委員会 委員長
議会運営委員会 委員



⑦ 沼口 富生
産業建設常任委員会 委員
監査委員



⑧ 楠木 静則
総務文教常任委員会 委員



⑨ 堀江 政洋
厚生常任委員会 委員長
議会運営委員会 副委員長



⑩ 高津 鶴己
産業建設常任委員会 副委員長
議会運営委員会 委員長



⑪ 矢野 博文
議長
厚生常任委員会 委員



⑫ 日比生洋一
産業建設常任委員会 委員長



⑬ 木村 幸治
副議長
総務文教常任委員会 委員



⑭ 原田 幸美
産業建設常任委員会 委員
議会運営委員会 委員



⑮ 皆川 高司
産業建設常任委員会 委員



⑯ 片岡 文雄
厚生常任委員会 委員



⑰ 浦田 光由
総務文教常任委員会 委員



⑱ 大島 勇夫
厚生常任委員会 委員



⑲ 属 公弘
総務文教常任委員会 委員



⑳ 安永 榮一
厚生常任委員会 委員

所属委員会紹介



議員は、常任委員会や議会運営委員会以外にも、特別委員会や一部事務組合議会、行政委員会等にも所属しています。

⑦ 沼口 富生

- ・広報特別委員会
- ・議員定数削減特別委員会
- ・下田川清掃施設組合議会
- ・土地活用審査委員会

⑧ 楠木 静則

- ・議員定数削減特別委員会
- ・生活安全推進協議会

⑨ 堀江 政洋

- ・広報特別委員会
- ・議員定数削減特別委員会
- ・下田川清掃施設組合議会
- ・消防委員会
- ・青少年問題協議会
- ・土地活用審査委員会

⑩ 高津 鶴己

- ・議員定数削減特別委員会
- ・田川地区消防組合議会
- ・企業誘致審議会

⑪ 矢野 博文

- ・議員定数削減特別委員会
- ・下田川清掃施設組合議会
- ・田川地区水道企業団議会
- ・福岡県介護保険広域連合議会
- ・企業誘致審議会
- ・生活安全推進協議会

⑫ 日比生洋一

- ・議員定数削減特別委員会
- ・消防委員会

⑬ 木村 幸治

- ・広報特別委員会
- ・議員定数削減特別委員会
- ・下田川清掃施設組合議会
- ・田川地区水道企業団議会
- ・育英資金貸与審議会
- ・学校給食施設等運営委員会
- ・生活安全推進協議会

⑭ 原田 幸美

- ・議員定数削減特別委員会
- ・下田川清掃施設組合議会
- ・学校給食施設等運営委員会
- ・町立診療所改善協議会

⑮ 皆川 高司

- ・議員定数削減特別委員会
- ・田川地区斎場組合議会
- ・消防委員会
- ・育英資金貸与審議会
- ・生活安全推進協議会
- ・社会福祉協議会評議員

⑯ 片岡 文雄

- ・議員定数削減特別委員会
- ・国民健康保険運営協議会
- ・企業誘致審議会
- ・町立診療所改善協議会
- ・土地活用審査委員会

⑰ 浦田 光由

- ・議員定数削減特別委員会
- ・社会福祉協議会理事

⑱ 大島 勇夫

- ・議員定数削減特別委員会
- ・生活安全推進協議会
- ・町立診療所改善協議会

⑲ 属 公弘

- ・議員定数削減特別委員会
- ・町立診療所改善協議会

⑳ 安永 榮一

- ・議員定数削減特別委員会
- ・下田川清掃施設組合議会
- ・町立診療所改善協議会

① 橋本 騰馬

- ・広報特別委員会
- ・議員定数削減特別委員会
- ・下田川清掃施設組合議会
- ・青少年問題協議会
- ・学校給食施設等運営委員会
- ・土地活用審査委員会

② 小松 繁信

- ・議員定数削減特別委員会
- ・下田川清掃施設組合議会
- ・農業振興地域整備促進協議会
- ・土地活用審査委員会

③ 尾崎さつき

- ・広報特別委員会
- ・議員定数削減特別委員会
- ・福岡県介護保険広域連合議会
- ・国民健康保険運営協議会
- ・青少年問題協議会
- ・町立診療所改善協議会

④ 木戸 勝正

- ・広報特別委員会
- ・議員定数削減特別委員会
- ・国民健康保険運営協議会
- ・土地活用審査委員会

⑤ 渡邊 文敏

- ・議員定数削減特別委員会

⑥ 辰島 誠

- ・議員定数削減特別委員会
- ・育英資金貸与審議会
- ・土地活用審査委員会

議長及び副議長就任ご挨拶



福智町議会 議長
矢野 博文



福智町議会 副議長
木村 幸治

福智町民の皆さまには、平素より町議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
去る5月14日の臨時会におきまして、議長及び副議長の要職に就くことになりました。誠に身に余る光栄であると同時に、職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。
今年度、福智町が誕生し10年目の節目を迎えますが、これからの議会は改革に重点を置き「議会が変われば行政が変わる」という思いと、住民全体の立場に立った議会として、行動をおこしてまいります。
最後になりますが、皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。私どもの就任のご挨拶といたします。

議 決 結 果

平成27年

第1回福智町議会臨時会

【会期は5月14日】

〔内容〕

議長・副議長選挙や議席の指定、常任・議会運営・行政委員会の選任、一部事務組合議会議員選挙、監査委員の選任と専決処分などの審議をしました。

《議長・副議長選挙など》

◆議長選挙は、投票により矢野博文議員が当選し議長に就任しました。
投票結果は《矢野博文議員9票・属公弘議員6票・渡邊文敏議員5票》でした。

◆副議長選挙は、投票により木村幸治議員・大島勇夫議員が共に7票と同数でしたが、大島勇夫議員が辞退し、木村幸治議員が副議長に就任しました。
投票結果は《木村幸治議員7票・大島勇夫議員7票

票・堀江政洋議員3票・辰島誠議員1票・白票2票》でした。
◆常任委員会の所属などは、議員紹介を参照願います。※P25P5

《専決処分》

◆3月31日に専決処分を行った件の承認で
①町民税の住宅ローン減税措置の対象期間が平成31年6月30日までの1年半の延長、2輪車の税率引き上げ時期が平成28年4月1日まで1年延長となる内容です。

【審議結果】

可決《賛成16 反対2》

②国民健康保険税の課税限度額が増額となる内容です。

【審議結果】

可決《賛成17 反対1》

平成27年

第2回福智町議会臨時会

【会期は7月30日】

〔内容〕

各小中学校で使用するパソコン購入の議会議決と、ふるさと納税の増額に伴う補正予算の審議をしました。

るために、小中学校に558台を購入するものです。なお購入金額は約5千9百万円です。

【審議結果】

可決《賛成17 反対0》

《補正予算》

◆ふるさと納税が大幅に増加しているため、当初歳入予算1千1百万円を3億円へと増額し、増額に伴う特産品贈呈などの歳出予算を1千2百66万9千円から1億6千5百6万9千円に補正するものです。

【審議結果】

可決《賛成17 反対0》



▶ふるさと納税カタログ

平成27年

第2回福智町議会定例会

【会期は6月10日～17日】

〔内容〕

一般会計繰越、条例改正、補正予算、副町長の選任、教育委員会委員の任命、議員定数削減特別委員会・広報特別委員会の設置及び委員の選任などを審議し、一般質問は8人の議員が町の対応や考えを聞いたいただきました。

【審議結果】

可決《賛成18 反対0》

《補正予算》

◆補正予算は、町営伏原団地（赤池）の老朽化した町営住宅を、平成27年度と平成28年度継続事業の確認及び赤池団地跡地に6階建・24戸を建て替えるもので、総事業費は4億8千6百万円となっています。

【審議結果】

可決《賛成18 反対0》



▲町営伏原団地（赤池）

《副町長の選任・教育委員会委員の任命》

◆副町長選任の議会同意

《条例改正》

◆市場第二学童クラブの新築に伴い、施設の設定条例の一部の改正です。

【用語解説】 専決処分…議会の権限に属する事項について、緊急性を要する場合等に町長が決定を行うこと。

【用語解説】 条例改正…現条例が実態に合わない場合等、現状に合わせる改正のこと。

一般質問

(平成27年第2回定例会)

議員8人が質問

一般質問は、町民の声や議員自身の考え方をもとに、町長や教育長などに、方針を問うものです。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。本会議場での傍聴をお待ちしています。

質問者	質問事項	ページ
辰島 誠	1.教育振興対策について 2.行財政改革について	9
木戸 勝正	1.小学校グラウンドの照明について 2.小・中学校の学力低下に対する取り組みについて 3.町主催のスポーツ大会について	10
沼口 富生	1.福智町内の高齢者の実態と町の対応及び委託先の対応について 2.国の空き家等対策の推進に関する特別措置法が5月26日から実質施行されます。福智町としての空き家問題対策について	11
渡邊 文敏	1.平成26年度繰越明許費について 2.金田小学校・中学校の建て替え事業について	12
尾崎さつき	1.児童の医療費の無料の拡大について	13
木村 幸治	1.空き家対策特別措置法について 2.地方創生事業について 3.公園整備について(赤池中央公園)	14
小松 繁信	1.農業振興対策について	15
高津 鶴己	1.マイナンバー制度の導入について 2.中学生の進路指導及び生活指導、学力向上対策について 3.初めに大事な幼児保育について	16



辰島 誠議員

教育振興対策、行財政改革について質問をしました
が、9月定例会で再質問を

する予定ですので、質問の詳細及び執行部の答弁は、次号に掲載致します。

町立保育所



▲神崎保育所



▲第一保育所



▲中央保育所

診療所



▲総合保健施設コスモス



▲方城診療所



木戸 勝正議員

金田小学校グラウンドに照明を

問 3月定例会で設置することのことだったが、いまだに設置されていない。児童の安全を第一に考えると、早急にすべきではないか。

答 教育長 現在、電球の明るさの調査をしている。また、球が切れている箇所は、早急に入れ替える。



▲金田小学校グラウンド照明

小中学校の学力低下の取り組みは

問 各団体の助成金を減額して、特別講師を雇い、カリキュラムを組んで、各施設で学力向上を図ることをどう考えているか。

答 町長 現在、解放学級という形で行っている。新たに講師を雇うことは、予算面からも厳しい。学生ボランティアによる学校での放課後学級ならば、可能であると考えている。現在、学力向上検証委員会を立ち上げ検討している。

町主催のスポーツ大会を

問 3月議会でも一般質問したが、町長杯として各スポーツ大会に取り組んではどうか。

答 町長 町民体育祭の実施については、地区公民館長



▲グラウンドゴルフ大会

の80%以上が否定的な見解であった。現在、グラウンドゴルフ大会とカローリング大会は、誰でも参加でき、多くの方が楽しんでおり、各地区にて予選を行い、その後、決勝戦を実施している。また、少年野球や弓道、小中学生のマラソン大会など実施されており、年々参加者が増えている。スポーツを通じての交流は行われていると思う。

問 地区公民館関係のスポーツではなく、町長杯として、スポーツ大会を実施し、住民の健康、親睦、スポーツ向上の為に、検討してほしい。



沼口 富生議員

福智町の高齢者対策は

問 福智町の高齢者の実態を踏まえ①介護予防②認知症・生活環境改善・就労促進対策を社会福祉協議会などに委託し、高齢者の意見は直接相談にに応じて



▲緊急連絡装置

いる。しかし、専門職員が不足しており充分な対応が出来ていないと以前答弁していたが、職員不足は改善されたのか。また一人住まいの高齢者への連絡・見守り体制は。

答 町長 社会福祉士を募集したが応募がなかった。高齢者の連絡・見守り体制は、在宅介護支援センターを中心に定期訪問・見守り訪問と並行して、地域のボランティアによる見守り活動を地域支え合い事業として行っている。



問 体系的でわかりやすい高齢者対策はどのように考えているのか。また、一人住まいで病気の人の対応等は。

答 町長 地域支え合い事業は、人員不足等で停滞している。高齢者に対してわかりやすいサービスを知らせる必要がある。一人住まいの人には、定期訪問を行っている。緊急連絡装置は本人が申請し、ケア会議で必要性が認められれば、持つことが出来る。

福智町の空き家対策は

問 国の空き家等対策の推進に関する特別措置法が5月26日から実質施行された。現在、人口減少などにより、適切に管理されていない空き家等が、防災・衛生・景観面で、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。すでに400を超える自治体で空き家条例が制定されてお



▲福智町内にも多く存在する空き家

り、解体費用の一部を助成する制度も確立されている。福智町として①空き家等の実態調査は②空き家等対策計画の策定は③協議会の設置はどうするのか。

答 町長 ①実態調査は、今年の10月から実施する。②空き家等対策計画の策定は、今年度末までに作成する。③協議会の設置は7月の福岡県空き家連絡協議会を踏まえて取り組む。



渡邊 文敏議員

城山横穴群整備事業

問 予算額のほぼ全額を繰り越した理由と、進捗状況の説明を。

答 町長

史跡の官報報告が遅かった事もあり、それから家屋調査、土地の鑑定評価、その後に地権者との交渉を開始したが、なかなか合意が得られなかった。進捗状況は、危険家屋の移転及び跡地整備のため3件の用地契約と2件の補償契約を終えている。本年度より駐車場整備を予定しており、地元の水利委員会、地権者、住民の説明会を順次進めていく予定。引き続き史跡の



▲城山横穴群

指定内の用地、補償交渉を進めていく。

問 合意が取れない場合は、

答 町長

合意は取れた。



◀金田小学校



◀金田中学校

金田小学校・中学校の建て替えは

問 小学校の現在の進捗状況と、今後中学校はどの様に考えているのか。

答 町長

小学校の建て替えは国庫補助事業の方向性が多少変わっており、補助金等

の可能性の中で、県と協議中の段階である。

問 現在給食施設は、自校式となっているが、建て替えに伴う学校給食施設は、どのように考えているのか。

答 町長

自校式でいきたいと思っている。

医療費無料化 中学3年まで拡大は

問 女性の視点から質問する。私は、3人の子育てをしてきた。子どもの服はミシンで縫い、おやつは手作りの物を与え、知恵を使い節約に努めてきたが、どうしても節約できないのが医療費である。福智町は小学4年生になると医療費の助成がなくなる。子どもが病気をし、さらに仕事を休むとなると家計が大変になる方はたくさんいる。隣の田川市はすでに、中学3年までは医療費が無料となっている。糸田町もこの秋から、また嘉麻市も



尾崎 さつき議員

来年1月から実施される。福智町も医療費無料化の対象年齢を引き上げる考えはあるのか。

答 町長

女性としての視点からの質問ということで、これからの頑張りを期待する。中学3年生まで助成を拡大すると、約6千万円以上の予算が必要となり、なかなか難しいところがあるが、近隣の自治体等の状況を見ると、検討しなければならぬ段階にきている。福岡県も今年度末に一つの方向性をだしてくると思うので、慎重に検討する。

田川市郡乳幼児医療費状況一覧表 (平成27年4月1日)

市町村名	自己負担額	
	通 院	入 院
田川市	中学3年生まで無料	中学3年生まで無料
添田町	〃	〃
大任町	〃	〃
香春町	就学前まで無料	就学前まで無料
川崎町	〃	〃
赤 村	〃	〃
糸田町	3歳未満無料 3歳以上～就学前 600円/月上限	3歳未満無料 3歳以上～就学前 500円/日 (月7日上限)
福智町	小学3年生まで無料	小学3年生まで無料

問 福智町も助成が厳しいとは思いますが、対象年齢を引き上げることで少子化に歯止めをかけ、若い人の定住化にもつながると思う。ぜひ医療費の助成を中学生まで引き上げていただきたい。多くの町民が望んでいる。

答 町長

諸条件を鑑みながら、しっかりと検討する。



▶子ども受診



木村 幸治議員

空き家対策は

問 空き家対策特別措置法の対応策は。

答 町長 実態調査、協議会の設置をし、空き家対策バンクの議論を行いたい。

問 崩落の危険がある空き家や、住民の安全対策は。

町長

答 危険な家屋を2軒把握している。指導・勧告はしているが、1軒は関東に居住で、係が出向いて協議を行う。もう1軒の措置は非常に難しいところがあるが、前向きに対応する。

問 住居があれば税法上の特別措置があるが、家を撤去すれば優遇措置がなくなるのではないか。

町長

答 空き家対策協議会を設置し、その面も含め専門家を交えて協議する。

地方創生は

問 地方創生事業の計画は。

町長

答 3月補正で計上した地方創生先行型交付金で、特産品の開発、ふくちリッチジェラートの販路拡大を図り、7月には北九州市の

ローンで試験販売を行う。ふるさと納税では現在、3千件を超えており、納税額は5千万円を超えている。さらなる拡大のため、システムの構築を行う。また、雇用定住促進拡大に向けて、ハローワークと連携し、情報提供を進めるシステムをつくっている。空き家対策も一緒に行うことを考えている。多機能型拠点施設として、図書館・歴史資料館の整備、ワークシヨップ等の開催予算も、地方創生に盛り込み、人口ビジョン、総合戦略の策定、総合戦略会議等の予算も計上している。

問 先進的な取り組み例として、那珂川町が九州大学とタイアップして、那珂川町の将来のビジョンを策定している。福智町も中・長期的な構想を考えてもらいたい。次に、地方創生アンケート募集の反応は。

答 町長 現在、18歳未満医療

費の無料化、子どもを2人以上産める支援、学校給食の無料化、空き家を活用した移住者対策、高齢者の雇用促進、6次産業の取り組みなどの意見が来ている。

赤池中央公園整備は

問 赤池中央公園を改良工事しているが。

答 町長 郵便局の前は、浸水が頻繁に起こる。緊急避難場所としての整備が第一目的だが、子どもたちの遊び場としても利用したい。事前に地域に説明できなかったことは、反省している。

問 緑豊かで起伏のある公園が、平坦になっている。避難対策なら、地域住民へ事前説明が必要である。維持管理はどうするのか。

答 町長 草刈り等の維



▲赤池中央公園

持管理は町が行うが、公園を地域で守り育てる意味で、地元と相談したい。

問 駐車場は何台分を確保し、その他のスペースはどうなるのか。

町長

答 駐車場は端のほうに十数台分確保し、通路は舗装を行い、周囲は草が生えにくい土系舗装を行い、子どもたちが遊べる平地にしたい。

農家経営安定施策は

問 現在、農家経営は非常に厳しくなっている。米価は下がり、資材は高騰する。国や県の補助金交付要綱等を見ると、大規模農家を優遇し、小規模農家を切り捨てるかの内容となっている。だが、山間部や狭小農地の多い当町では、農地を守るには小規模農家の役割は大きいと考える。今後農家経営の安定と向上を図る手段として、農業用施設の改良や新設も必要と考える。上野地区では幅2メートルに満たない主要な道路が数ヶ所残っている。農作業はもちろん、毎



小松 繁信議員

日の生活道路や通学路としても使用されている。現在農機具も大型化され、作業効率や安全性を高める為には拡幅整備が是非必要である。市場地区は、市場小学校の裏から草場地区まで長く農地が広がっている。



▲農地

高低差が少ないので水路は大きな役割を持つている。集団で大豆を作っているが、大豆は水を変嫌う。水路の漏水により一部作付ができず、また、根腐れ等の支障が起こったり、水路が長い為、中だるみをおこして先の方まで水を送れない所もある。この地区に1、2ヶ所井堰があれば、水を有効に利用できるし、排水の問題も解消する。過去、農地のほとんどが鉱害復旧事業で整備されてきた。町の予算を使わずに地域の有志の手で成し遂げられた。中には、公共施設である道路、水路が含まれており、これ等を拡幅する為、各農家が自分の農地をそれぞれ無償で提供し広げてきた事実がある。このような経過を十分考慮した上で、現在すでに要望が上がっている所、今後上がってくる所の取り組みを是非やるべきだと考える。町長の考えをお聞きしたい。

答 町長 福智町としては、大規模農家、小規模農家と連携をとりながら、農地を維持、保全を図られるよう進めていきたい。すでに農道、水路等が老朽化しているが、農家がしっかりやって



▲水路

いけるような基盤設備を整えなければならぬ。福智町の基幹産業は農業である。十分承知しており、農政課と協議しながら、小規模農家を切り捨てる事なく進めていきたい。



高津 鶴己議員

マイナンバー制度の導入

問 この通常国会で法律が通れば、平成28年

1月から社会保障、税、防災等に役立てるためのマイナンバー制度が導入される予定だ。福智町の準備状況及び、町民への周知方法は、

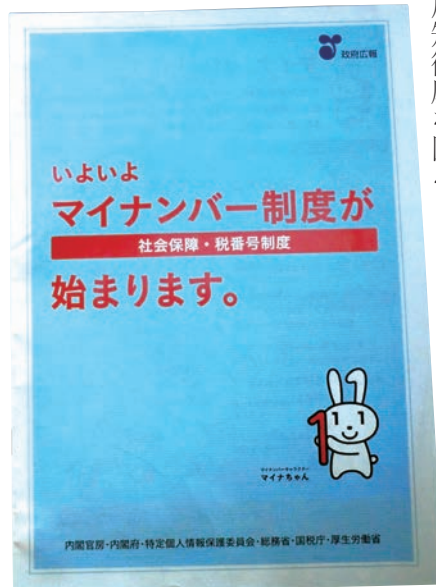
答 町長 今年10月から番号の通知を各世帯に簡易書留で郵送する予定。来年1月から個人番号カードを窓口で無料交付することとしており、町の広報紙に掲載する計画である。

問 日本年金機構の個人情報125万件が流

出した問題があったが、マイナンバー制度導入に伴い、こういった流出事故等は起こらないのか。

答 町長 システムのファイアウォールを更新するなどし、又、職員についても特定個人情報保護評価書を取りまとめるなど事故のないよう周知徹底を図る。

出した問題があったが、マイナンバー制度導入に伴い、こういった流出事故等は起こらないのか。



▲マイナンバー制度パンフレット

中学生の進路指導、生活指導、学力向上対策は

問 中学生の進路指導で全員が高校等に進学できたとのことだが、是非

一年後の状況もフォローしていただきたい。大人になる前の多感な中学生であり、勉強もさることながら、クラブ活動も中学校では必須だと考えている。特に教育委員会は部活動を推奨していたきたいが。

答 町長 全く同じように思っている。私は教育長的时候にも、部活の促進というのを一つの指針としてあげていた。

初めに重要な幼児教育について

問 保育料収入は1億4千9百万円、保育措置費支出総額は9億5千9百万円で保護者からいただ

いている金額は15.58%にすぎない。町の持ち出しが4億3千9百万円あるということがよくわかった。町立保育所の定員と入所数との乖離が非常に大きいと思う。何が原因だと考えるか。

答 町長 募集時におけるPR不足が大きな原因であり、児童の減少も拍車をかけている。

問 サービス内容にも原因があるのではないかと。公立保育所を抜本的に改善していく必要があると考える。

答 町長 職員の教育も必要だと思う。定員の見直しも考えながら対処する。

二回メモ

ファイアウォールとは：コンピュータなどと外部ネットワークの境界に設置され、内外の通信を中継・監視し、外部の攻撃から内部を保護するためのソフトウェアや機器、システムなどのこと。

特定個人情報保護評価とは：個人番号制度の導入に伴い、個人のプライバシー等、権利利益の侵害防止のため、特定個人情報の概要や漏えい、その他の事態を発生させるリスク対策等を記載している書類。

研修報告 新人研修に行ってきました！

平成27年7月10日福岡県自治会館で、東京農業大学農学部を卒業された田口一博講師による研修会が行われました。そこで色々なことを学ばせていただきました。私たち議員は選挙で選ばれた代表者であること。町民のみなさんの声に耳をかたむけ



▲福岡県内からたくさんの新人議員が集まりました



▲福智町から新人4人が参加しました

町が少しでも良くなるように議会で発信していく使命があることを認識しました。今後もしっかり研鑽して、議員力アップに努めて参ります。

石碑除幕式・避難行動訓練に参加

平成21年7月24日 午後9時30分ごろに発生した、上弁城地区豪雨災害では尊い人命が失われました。

福智町が、また福智町民として忘れることのないよう、この豪雨災害を教訓として、安全安心な町づくりに大きく前進するため、『福智町防災の日』が7月24日に条例で定められました。

災害が発生した上弁城地区には、防災の日を定める石碑が建立され、平成27年7月26日には、石碑除幕式および避難行動訓練がおこなわれました。避難行動訓練には、消防第7分団(方城)や地区の皆さん方が積極的に参加し、地域防災力の向上につながったのではないかと思います。自分の意思で、家族や友人、そしてご近所の方に積極的に関わり、素晴らしい互助の大切さを改めて強く感じました。上弁城の婦人部による防災炊き出し訓練もあり、本当にお疲れさまでした。

天災は、時間が経てば忘れて、気がゆるんでしまいがちです。これからも永久に忘れることなく気持ちを引き締め、災害に備え、防災意識を高めたいと思います。



▲第7分団員

福智町議会議員定数削減特別委員会を設置

今後の議員定数について話し合う特別委員会が、6月定例会で設置されました。審議内容などは、議会だよりでお知らせしていきます。

視察
研修

広報特別委員会 視察研修

分かりやすい議会だよりを目指して

新しく設置された広報特別委員会で、平成27年7月1日に視察研修に行きました。午前には香春町議会広報常任委員会、午後には添田町議会広報常任委員会を訪れ、それぞれの議会だよりの作成方法や、編集作業の仕方、また議会だよりに対する熱い思いを聞き、意見交換会を行いました。非常に参考になることが多く、これからの福智町議会だよりに役立てていきたいと思ひます。



▲香春町研修風景



▲添田町研修風景

広報特別委員会あいさつ

議会広報「議会だより」を発行するのが、しないのかを議員全員の協議会で話し合い、様々な意見を集約した結果、議会審議内容や議会活動の報告を、より多くの町民の皆さまに知っていただく事が必要だということで、「福智町議会広報特別委員会」が設置されました。委員会は各常任委員会から2名選出され、6名で構成しています。香春町・添田町へ研修に行き、そこで学んだことを活かしながら、議会だよりの内容について議論してきました。

まずタイトルは「議会だより」、サブタイトルは「議会の窓」と決定し、審議内容・一般質問・議会活動報告などは、①読みたくなる紙面②読みやすい内容③議会だよりにしかない情報などを編集の基本として発行していくことになりました。

なれない紙面づくりで委員全員苦勞していますが、一生懸命がんばりますので、ご愛読お願いいたします。



▲前左から
木戸勝正副委員長、沼口富生委員長、尾崎さつき委員
後ろ左から
堀江政洋委員、橋本騰馬委員、木村幸治委員